



R I 会長と米山学友らが懇談 — ロータリー研究会 —

東京・台場で11月20～23日、第46回ロータリー研究会が開催され、その最終日の午後、イアン H.S. ライズリー国際ロータリー (R I) 会長夫妻と米山学友・平和フェローとの懇談会が開かれました。米山学友からは、アメリカ出身のコリーン・シュムコーさん (2014-16/東京葛飾RC)、中国出身の于咏さん (2005-07/名古屋中RC) と包翠芳さん (2015-17/山形南RC)、ネパール出身のバタライ・ビノドさん (2014-16/東京世田谷南RC) の4人が参加。それぞれ自己紹介の中で、米山奨学金が学業達成の大きな支えとなり、ロータリーとの出会いが現在の活動や目標につながっていることを、感謝の言葉と共にR I 会長夫妻に伝えました。

また、よねやま親善大使を務める于咏さんが



米山記念奨学事業についてプレゼンテーションしたほか、他の学友も積極的に質問。会長夫妻はそれらの質問にこやかに答えて、自身の考えや関連するロータリーの活動を紹介するなど、参加者全員にとって、身近にR I 会長の意見に触れる貴重な機会となりました。

寄付金速報 — 今年もあと半月、ご送金はお早目に —

11月までの寄付金は前年同期と比べて3.6%増 (普通寄付金: 0.4%増、特別寄付金: 5.2%増)、約2,500万円の増加となりました。11月単月の寄付実績としては、前年度に及ばなかったものの、約7億1,600万円の寄付累計額は直

近16年の中で最高額となりました。皆様からのご支援に厚く御礼申し上げます。12月29日 (金) までに着金した特別寄付金について翌年1月末までに確定申告用領収証を発行いたします。ご確認よろしくお願ひします。

全国学友会会長セミナー開催

国内の米山学友会会長を対象としたセミナーが11月18日、都内で開催され、全国33の学友会の代表者32人が参加しました。選考・学務委員会担当理事である水野 功常務理事からご挨拶をいただいた後、事務局から補助費や報告義務などの実務説明を行いました。その後は4グループに分かれ、魅力ある学友会の運営について活発な議論が交わされました。各グループの発表や質疑応答、岩邊俊久事務局長からの講評後、懇親会では参加者同士のLINEグループを作るなど、打ち解けた雰囲気の中で親睦を深めてい

ただきました。今回のセミナーを通じて、地区を越えた学友の輪が広がり、今後の情報共有・連携が進むことが期待されます。



ミャンマー米山学友会による「田中作次奨学金」

ミャンマー米山学友会が設立した「田中作次奨学金」の第1回贈呈式が11月19日、ヤンゴン市内の日本語学校で開催されました。

この奨学金は、元RI会長の田中作次氏から同学友会へ贈られた支援金を基金とし、日本語を学ぶ優秀な学生10人に対して、それぞれ約2万円を奨学支援するというもの。奨学生に選ばれた学生たちは、「看護師を目指したい」「日本語の先生になりたい」など、家族らが見守る中、将来の夢を日本語で発表しました。

当日は日本から東京東江戸川RCの会員2人が授与式に立ち会いました。クラブ国際奉仕事業のためミャンマー訪問中だった幹事の嶋村文

男氏は、「若者の夢にこちらも胸が熱くなった。日本へ留学する夢を叶えて、この中から米山奨学生が誕生してくれたら。今後も感謝の気持ちを忘れず、ミャンマーの国づくりを担って欲しい」と、語っていただきました。



韓国米山学友会が総会を開催 — 家族・知人と輪広げて —

11月18日、ソウル市内で韓国米山学友会の定期総会が開催され、学友約55人のほか、韓国と日本のロータリー関係者、台湾米山学友会・関西米山学友会の役員、さらに今回は学友の家族や知人も多数参加して、総勢約80人の盛会となりました。総会の第1部では、韓国から20人以上が参加した「感謝 in 熊本」を含む1年間の活動報告や、次期役員ジョンピョンデの選出が行われ、次期会長には全炳台現会長の連任が決定しました。第2部では、韓国米山学友会が支援する日本人

留学生3人への奨学金授与式をはじめ、景品抽選で盛り上がり、全員で交流を深めました。

参加した学友からは「忘れていた米山奨学生としての感謝の心を思い出した」「家族や知人にも誇れる学友会だ」などの声が聞かれ、日本から出席した第2610地区米山記念奨学副委員長の村中高次郎氏は「初参加だが、まるで所属クラブの例会のような安心感で、初対面の学友とも会話がはずみました。日本人留学生に学友会から奨学金が手渡されたときには、思わず感動を覚えました。韓国学友会は少しずつ、でも確実に前進していることを感じた総会でした」と、感想を寄せてくれました。今後も同学友会では家族的な雰囲気大切に、さまざまな分野で活躍するメンバーが互いに助け合える環境を作り、学友同士の連携・連帯を強めていく方針です。(取材協力：韓国米山学友会広報委員会)



申告用領収書は来年1月にお送りします

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1～12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月29日(金) 当会着金分までが対象です。

